

おわりに

この計画は、三次市がめざしていく50年、100年後の理想のまちの姿を見据え、相互に関連しあう6つの分野ごとに、まちづくりの目標、基本戦略、そして主要施策を取りまとめています。

今回の総合計画では、ただ単に計画期間内(平成18年度から平成26年度)の目標や施策の方向性を示すのではなく、まちづくりの主役である市民に、共にめざそうとする理想のまちの姿と、その実現に向けた基本的な考え方や主要施策を明らかにすることで、これからのまちづくりに向けた市民と三次市との議論が活発に展開できるとともに、真に市民と三次市との協働によるまちづくりの第1歩が踏み出せるものと考えます。

今後、少子高齢・人口減少社会の本格的な到来に備え、全国的に人口の維持・確保をめざす地域間競争が一層激化することが予想される中で、三次市は、子育て支援や子どもの教育を重点政策とし、少子化を食い止める施策をしっかりと講じていきながら、市民と三次市が共に“夢と元気があふれるまちづくり”を進めていくことにより、「住みたい、住んで良かった、住んで誇りに思える“三次”」を実現していき、^{※1}「新市まちづくり計画」の人口見通しを着実に達成するとともに、将来の10万人都市建設をめざして、広域行政の推進と定住・交流人口の拡大に積極的に取り組みます。

今こそ、三次市の意地と気概と誇りを示すときです。

※1 新市まちづくり計画

平成15年3月に三次市・双三郡・甲奴町合併協議会により合併後の新市建設を総合的かつ効率的に推進することを目的に策定された長期計画。計画期間は平成16年度から11か年。

みよし百年物語

— 五十年、百年後の理想の姿 —

～ 新たな夢 ～

人びとは子どもたちに誇らしげに語っています

五十年、百年前に描かれた大きな夢に向かい、人びとが共に

手を取りあい、ひたむきにまちづくりに取り組んできた歴史を

脈々と受け継ぎ守りぬいてきた豊かな自然、伝統や文化、

人びとのぬくもり、そして先人への感謝の心を

夢は現実となり、日本中、いや世界中のどこよりも夢と元気が

満ちあふれるこの三次のまちを、子どもたちに引き継いでいけることを・・・

そして、子どもたちは誇らしげに言います

「僕たち、私たちは、三次のまちが大好きだよ」と

子どもたちのきらきらと輝く真剣なまなざしに、

人びとは、また“新たな夢”を抱いています

まちづくりに終わりはありません・・・